

第70回教育研究評議会議事録（要録）

平成22. 5. 25（火）13:45～14:39

場所：本部棟5F1会議室

出席者	浅原, 上, 山根, 岡本, 河本, 坂越, 佐藤(正), 西村, 宜名眞, 吉栖, 高田, 大塚, 檜原, 宇田川, 山内, 岡橋, 棚橋, 宮谷, 富岡, 出口, 高萩, 川真田, 江坂, 古澤, 池田, 木下, 杉本, 神谷, 谷口, 太田, 相原, 檜山, 澤, 黒田 以上評議員 34人
欠席者	江幡, 小林, 吉田, 越智, 鎌田, 山本, 佐藤(利), 吉川
オブザーバー	西口, 間田, 坂下, 高谷, 香川, 松浦, 渡部, 西谷, 土屋, 藤岡, 茶山, 西田, 星野, 森, 山口, 高橋, 坂田, 竹内

(議事)

1. 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について-----別紙1  
(学長提案・説明)

法令の定めにより, 各組織の点検・評価及び意見を基に, 本学評価委員会において取りまとめた「平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書(案)」及び「平成20, 21年度中期目標の達成状況報告書(案)」等について提案・説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認し, 役員会に付議することとした。  
なお, 今後, 微細な修正については, 学長に一任することとした。

2. 平成23年度教育研究組織整備について -----別紙2  
(学長提案・説明)

平成23年度の教育研究組織整備のうち, 大学院医歯薬学総合研究科口腔健康科学専攻(博士課程後期)の設置及び歯学部歯学科の入学定員の改訂について提案・説明があり, 原案どおり承認し, 経営協議会(6月8日開催)及び役員会に付議することとした。

3. 広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センターの新設について-----別紙3  
(学長提案・山根理事・副学長(研究担当)説明)

文部科学省特別経費(プロジェクト分)として措置された「中米・カリブ海諸国をフィールドとした持続可能な発展に関する研究」事業(平成22年度～平成24年度)を推進するに当たり, 持続可能な社会を構築するための諸課題を解決し, ドミニカ共和国等の中米カリブ海諸国を対象に相手国と協同(共同研究を含む)し実践に移すシステムを構築するため, 新たに学内共同教育研究施設として「広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センター」を設置することについて提案・説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認し, 経営協議会(6月8日開催)及び役員会に付議することとした。

4. 広島大学学則等の改正等について -----別紙4  
(学長提案・山根理事・副学長(研究担当)説明)

広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センターの新設に伴う広島大学学則の改正及び広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センター規則の制定について提案・説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認し, 経営協議会(6月8日開催)及び役員会の承認を経て制定・施行することとした。

5. 広島大学と福山大学との大学間交流に関する包括協定の締結について -----別紙5  
(岡本理事・副学長(社会連携・広報・情報担当)提案・説明)

本学と福山大学との教育・研究活動の交流と連携・協力の推進のための大学間交流に関する包括協定の締結について提案・説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認した。

6. ダイキョーニシカワ株式会社との包括的研究協力に関する協定の締結について-----別紙6  
(岡本理事・副学長(社会連携・広報・情報担当)提案・説明)

自動車及び住宅の樹脂製部品の軽量化・高機能化・コスト低減のための先端技術の開発を行い、得られた研究成果を広く社会に貢献することを目的としたダイキョーニシカワ株式会社との包括的研究協力に関する協定の締結について提案・説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(報告)

1. 広島大学の研究実績データについて----- 口頭報告  
(学長報告)

本学教員の研究分野・研究実績を科学研究費補助金の応募・採択状況及び論文数、被引用数から分析した内容について、パワーポイントを用いて報告があった。

また、前回の本会議で報告した「最先端・次世代研究開発支援プログラム」について、本学から106名(うち女性研究者23名)の申請があり、結果は、本年11月頃に判明予定である旨、併せて報告があった。

2. 広島大学、広島経済大学、シンガポール経営大学の三者協定締結について---- 資料1  
(学長報告)

相互の教育・研究を促進し、国立大学、私立大学、海外大学のこれまでにない国際教育交流モデルの構築を行うため、広島大学、広島経済大学、シンガポール経営大学が三者協定を締結した旨、報告があった。

3. 平成22年度営繕工事の実施について----- 資料2  
(河本理事(財務・総務担当)報告)

共通運営経費の営繕経費及び施設整備費交付金(国立大学財務・経営センター)による平成22年度営繕工事の計画を立案した旨、報告があった。

4. 教育用情報端末におけるプリンタ出力有料化について----- 資料3  
(岡本理事・副学長(社会連携・広報・情報担当)及び相原情報メディア教育研究センター長報告)

情報メディア教育研究センターが運用する教育用情報端末におけるプリンタ出力の有料化について、利用者負担額の単価を決定した旨、報告があった。

なお、本有料化については、現在の支出規模は維持しつつ、サービスレベル維持に不足する印刷コストを利用者全員が均等に負担することを基本方針としているため、学生に過大な負担を強いるものではない旨、併せて説明があった。

5. 第4回ホームカミングデーについて----- 資料4  
(学長(広島大学校友会会長)報告)

第4回ホームカミングデー(11月6日(土)開催)の全体スケジュール及び企画内容の大枠について報告があり、昨年創立60周年記念事業として実施した第3回ホームカミングデーでのネットワークをさらに発展させるため、昨年同様できるだけ多くの参加者を得て盛大に開催したいので、同窓生への働きかけはもとより、所属の教職員、在学生にも参加・協力を呼びかけていただきたい旨、併せて要請があった。

なお、学部・研究科企画については、学外(昨年の参加者等)からの要望もあり、今回は一堂に会してのパネル展示を計画しているが、詳細は別途通知するので協力願いたい旨、依頼があった。

6. その他

岡本理事・副学長(社会連携・広報・情報担当)から、教育研究支援強化、ソフトウェア資産の適切な強化等を目的として、マイクロソフト社と包括ライセンス契約を締結し、いくつかのマイクロソフト社製ソフトウェア製品を無償で利用できるようになったので、各部局等で周知していただきたい旨、依頼があった。

(資料配付による報告)

次の各事項については、配付資料をもって報告に代えた。

なお、各種表彰等の受賞者については、本学の広報の一助にもなるため、各部局長等におかれては、受賞状況を把握し、積極的に報告していただきたい旨、要請があった。

1. 各種表彰等の受賞者について ----- 配付資料 1  
(財務・総務室)

以上 (資料添付略)